



U.S. Customs and Border Protection

電子渡航認証システム ビザ免除プログラムの近代化

システム

ビザ免除プログラム（VWP）の渡航者がVWPを利用して米国に渡航する際には、渡航の前に電子渡航認証システム（ESTA）による渡航認証の取得が義務付けられています。VWP参加国の資格のある国民は、<https://esta.cbp.dhs.gov> からオンラインでESTAにアクセスできます。

VWPにより、VWP参加国からの渡航者はビザを取得することなく、90日以下の商用または観光目的で米国に渡航することができます。ESTAはVWPの安全を強化するものであり、米国政府はVWP参加国を拡大することができました。

ESTAに関する一般情報

電子渡航認証システム（ESTA）とは何ですか？

ESTAは、VWPを利用して米国へ旅行する渡航者の適性を判定するために使用される自動システムです。I-94Wフォームと同じ内容の入力が義務付けられています。

VWP渡航者にESTAによる渡航認証が義務付けられるのはどうしてですか？

米国の法律により、米国国土安全保障省（DHS）に対し、VWPの安全を強化するために、電子渡航認証システムおよびその他の措置の実施が義務付けられました。ESTAにより、各渡航者がVWPを利用して米国に渡航する資格があるかどうか、またその渡航が法の執行または安全保障上のリスクをもたらさないかについて、DHSが渡航前に判定できるもう一つの保安強化措置が追加されます。

ESTA申請書の提出が必要なのはどのような人ですか？

VWPを利用して90日以下の短期商用または観光目的で米国への旅行を計画しているVWP参加国のすべての国民は、米国に渡航する前にESTAを通して渡航認証が必要になります。渡航者が他の国へ行く途中で米国を通過する予定の場合でもESTAによる渡航認証が必要です。

ESTAの申請方法

米国への渡航認証はどのように申請するのですか？

渡航認証の申請は、<https://esta.cbp.dhs.gov/> にアクセスしてください。必須項目すべての質問に回答し、渡航認証申請書を送信してください。

私はあまり英語ができません。日本語でも利用できますか？

はい。ヘルプセクションを含むESTAウェブサイトは、日本語を含む複数の言語に訳されています。ただし、申請書はすべて英語で回答する必要があります。

私自身がインターネットにアクセスできない場合、私の代わりに誰か他の人でも申請できますか？

はい。友人、親戚、旅行業界関係者、またはその他の第三者があなたの代わりに申請書を提出できます。第三者が渡航者に代わり申請料金を支払うこともできます。ただし、渡航者は、本人に代わり提出されたすべての情報が真実かつ正確であることに対して責任を負います。

渡航認証フォームに入力する際に必要な情報は？

渡航者は、英語で氏名、生年月日、パスポート情報を含む個人情報を提供する必要があります。また渡航者は、伝染病、特定の犯罪での逮捕および有罪判決、過去のビザ取り

消しや国外退去に関する質問など、VWPの資格に関する質問にも回答する必要があります。さらに、ESTA申請を完成するためには、必要な費用を支払うためのクレジットカード情報も必要となります。

渡航認証は旅行のどのくらい前に申請する必要がありますか？

米国に渡航する前であれば、いつでも申請することができます。渡航認証は、できる限り早く、旅行計画が立てられ次第申請するようお勧めしています。DHSは、必ずしもすべての渡航が前もって計画されないことを認識していますので、渡航直前の、または緊急渡航時の申請にも対応します。VWPの渡航者は、ESTA申請の前に米国への具体的な渡航計画をたてるよう義務付けられてはいませんが、情報を入力できる場合には、目的地の住所および旅行日程を提供するようお勧めします。

申請の処理にどのくらいの時間がかかりますか？

渡航者の申請書がオンラインで正式に提出されると、ほとんどの場合、ほぼ即時に渡航の適性判定が出ます。

回答にはどのようなものがありますか？

渡航認証承認：渡航が認証されました。

渡航認証拒否：渡航者は、米国に渡航する前に、米国大使館または領事館で非移民ビザを取得する必要があります。

渡航認証保留：最終回答が72時間以内に出ますので、渡航者はその回答を受け取るために、ESTAウェブサイトでも最新情報を確認する必要があります。

渡航認証の有効期間はどのくらいですか？

渡航認証は、通常2年間またはパスポートの有効期限が切れるまでのいずれか早い方の日まで有効です。有効期間内であれば、渡航者は、再度ESTAを申請することなく、米国に何度でも渡航できます。

ESTAを通して渡航認証を再申請しなければならない場合がありますか？

はい。以下の場合、ESTAを通して新しい渡航認証が必要になります。(1)渡航者に新しいパスポートが発行された場合、(2)渡航者が名前を変えた場合、(3)渡航者が性別を変えた場合、(4)渡航者の国籍が変わった場合、(5)「はい」または「いいえ」で回答するESTA申請の質問関し、渡航者の以前の回答と状況が変わった場合。

ESTA認証は、通常2年間、または申請者のパスポートの有効期限が切れるまでのいずれか早い方の日まで有効です。申請が承認されると、ESTAが有効期限を提示します。よって、以前のESTA認証またはパスポートの有効期限が切れた時には、渡航者は新たなESTAの申請が必要です。ESTA費用は、新たな申請を提出する度に請求されます。

ESTAを通して渡航が承認された場合、それは米国へ入国できるという意味ですか？

いいえ、必ずしもそうではありません。渡航認証は、渡航者がビザなしで米国に旅行するために飛行機または船舶に搭乗することのみを認可します。いかなる場合でも、入国可否は、入国地または事前通関手続き機関で米国税関国境取締局審査官が行います。

詳細については、www.cbp.gov/esta でご確認ください



Japanese



U.S. Customs and Border Protection

電子渡航認証システム ビザ免除プログラムの近代化

ESTAシステム

VWP渡航者は、ESTA認証を印刷した用紙を空港に持って行く必要がありますか？

いいえ。DHSは、渡航者のESTA申請の状況を航空・船会社に伝えます。ただし、DHSは、渡航者にESTA申請番号の控え用として、ESTAの申請に対する回答を印刷することをお勧めします。

ESTA申請番号を忘れました。ESTA情報を更新、または申請状況を確認するためにシステムにログインするにはどうしたらいいですか？

渡航者が自分の申請番号または渡航状況を紛失したり、忘れてしまった、またはアクセスできない場合、申請者の氏名、生年月日、パスポート番号およびパスポート発行国を入力して、ESTAウェブサイトを通して申請番号を検索することができます。

ESTA費用 渡航認証の取得に費用がかかりますか？

はい。2010年9月8日現在、2009年旅行促進法で義務付けられた費用があります（2009年米国連邦議会警察管理技術調整法第9条、公法番号111～145）。費用は次の2つの料金体系で構成されています：

処理費用—電子渡航認証を請求しているすべての申請者に処理費用が請求されます。費用は4ドルです。

認証費用—申請書が承認され、米国へVWPでの渡航認証が認められた場合、あなたのクレジットカードに10ドルの支払いが請求されます。電子渡航認証が拒否された場合は、処理費用のみ請求されます。

CBPは、クレジットカード会社により請求される追加料金に対し一切責任を負いません。

渡航認証費用はどのように支払うのですか？

電子渡航認証申請のすべての支払いはクレジットカードまたはデビットカードで行います。ESTAシステムが現在受付けるクレジットカードはMasterCard、VISA、American Express、Discoverのみです。親戚や旅行代理店などの第三者がそれぞれの申請に対する申請費用を支払うこともできます。クレジットカードの名義人と渡航者の氏名と一致する必要はありません。すべての支払い情報が受理されるまで、申請書が審査のために送信されることはありません。

クレジットカード以外で支払う方法はありますか？

現時点では以下のクレジットカードでの支払いが必要です（MasterCard、VISA、American ExpressおよびDiscover）。VISAまたはMasterCardのロゴマーク入りのデビットカードでもお支払いいただけます。デビットカードの適合性をご自分の銀行で確認してください。将来的には、その他の支払い方法についても検討中です。

代理申請をしてくれる他のウェブサイトを見ました。このサービスを頼めば、渡航認証をより早く受け取ることができますか？

いいえ。ESTAを通じた渡航認証の申請に民間サービスを利用しても、認証が早く与えられることはありません。ESTAに関する情報を提供しVWP渡航者のESTA申請を提出する第三者のウェブサイトはDHSや米国政府と一切関係ありませんし、いかなる提携関係もありません。

このウェブサイトは安全で情報が漏れることはありませんか？

はい。このウェブサイトは米国政府により運営され、入力・閲覧される情報への不正アクセスを防ぐ技術を採用し

ています。ESTAウェブサイトを通して申請者が提出した情報は、連邦情報セキュリティマネジメント法を含む（ただし必ずしもこれらに限定されない）米国の法令に規制されるものと同じ厳格な規制（類似の渡航者適格性審査に関し定められたもの）の対象となります。こうした情報へのアクセスは、業務上知る必要がある人々に限定されています。

また、クレジットカード情報はPay.govでもセキュリティ保護（暗号化）されています。Pay.govは128ビットSSL暗号化技術を使用し、Pay.govにログイン中の取引情報を保護します。さらに、プロフィールに設定した口座番号はすべてデータベースに記録される前に暗号化されます。プロフィールにアクセスする際には、入力したすべての口座番号は画面上で表示されません。プロフィールの各口座番号は、口座番号の後に4桁の星印で表示されます。

ESTAとI-94W ビザ免除渡航者がESTA認証を受け取った場合、その渡航者はI-94Wも記入する必要がありますか？

ESTAプログラムの実施により、DHSは、VWP渡航者が米国に入国する前にI-94W用紙に記入する要件を廃止することが可能になります。CBPは、飛行機または船で到着するESTA認証を取得したVWP渡航者の殆どのケースでペーパーレス化に移行しています。VWPで米国に入国する大部分の渡航者は、もはやI-94W用紙に記入する必要がなく、I-94W出入国カード(グリーン)の半券がパスポートに貼付されることはなくなるでしょう。I-94W用紙は陸路からの入国ではまだ必要です。

ESTAの拒否 渡航認証が拒否された場合はどうしたらよいのでしょうか？

渡航認証の申請が拒否されても渡航者が引き続き旅行したい場合、渡航者は米国大使館または領事館でのビザ申請が必要です。ビザ申請手続きの詳細については、または、www.travel.state.govをご覧ください。

私は現在有効なビザを持っています。ESTAで渡航認証も申請する必要がありますか？

いいえ。有効なビザを持っている方は、ビザが発給された目的でそのビザを使用して米国に渡航することができます。ESTAを通して渡航認証を申請する必要はありません。

ESTAの概要:

対象者: VWP参加国の国民
内容: VWPを利用して米国に渡航するための渡航認証
申請方法: ウェブサイト<https://esta.cbp.dhs.gov/>から
目的: ビザ免除プログラムの近代化および安全化を図るため
費用: 処理費用4ドル、認証費用10ドル
詳細については下記のサイトをご覧ください:
www.CBP.gov/ESTA

権利放棄

ビザ免除プログラムに基づく米国への入国の条件として、米国に到着時の審査中、生体認証識別（指紋や写真など）を提出することにより、米国税関国境取締局審査官の入国に関する決定について審査または不服申立てを行う、あるいは亡命の申請事由を除き、ビザ免除プログラムによる入国申請から生じる除外措置について異議を申立てる権利を放棄することを再度表明するものとします。

詳細については、www.cbp.gov/esta でご確認ください



Japanese